

令和 7 年度美宙の星空フォトツアー助成事業

助成金交付要綱

令和 7 年 5 月 7 日 制 定
公益社団法人 岡山県観光連盟

（総則）

第 1 条 令和 7 年度美宙の星空フォトツアー助成事業（以下「助成金」という。）の交付については、この要綱に定めるところによる。

（定義）

第 2 条 この要綱において、「フォトツアー」とは、15 名以上の団体旅行をいう。

2 この要綱において、「備中県民局管内」（以下、「管内」という。）とは、岡山県備中県民局が所管する区域の倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町及び矢掛町をいう。

3 この要綱において、「旅行業者」とは、旅行業法及び同法施行規則の規定による第 1 種旅行業、第 2 種旅行業、第 3 種旅行業の登録を受けている国内の旅行業者をいう。

4 この要綱において、「事務局」とは公益社団法人岡山県観光連盟をいう。

（交付の目的）

第 3 条 管内の強みである「星空」をテーマとした旅行商品の造成を促進し観光誘客を図る。

（助成金額）

第 4 条 助成金は、旅行業者に対して、ツアーの構成人員が、15 名以上のフォトツアーを催行した実績に基づき、予算の範囲内において次の通り交付する。

助成金額と要件
<p>1 設定日につき20万円を助成する。</p> <p>要 件</p> <p>助成対象とする旅行の要件は、次のとおりとする。</p> <p>① 募集型企画旅行とし、ツアー1本あたり15名以上の参加者（乗務員、添乗員、カメラマン講師等を除く。）であること。</p> <p>② 次のア～ウすべてに該当するツアーであること。</p> <p>ア) 管内の宿泊施設に1泊以上宿泊すること。</p> <p>イ) 管内の食事処で1回以上の食事をとること。</p> <p>ウ) 管内の観光施設、観光スポット又はイベントを1箇所以上周遊すること。ただし、星空撮影スポットと同じ天文施設はカウントできません。</p> <p>③ 管内の星空撮影スポットで2時間以上撮影時間が確保されていること。</p> <p>④ 悪天候時には、夜景撮影等星空撮影に代わる撮影スポットで1時間以上撮影時間が確保されていること。</p> <p>（旅行開始後の豪雨や雷雨、また注意報や警報が発令されるような場合のやむを得ない予定変更や中止の場合はご報告ください。）</p> <p>⑤ 星空撮影及びそれに代わる撮影スポットでの撮影時には、カメラマン等講師を同行させ、撮影方法を教わりながら撮影できること。</p> <p>※カメラマン講師は原則として外部に外注すること。それ以外の場合はご相談ください。</p> <p>※撮影スポット</p> <p>瀬戸大橋・まきび公園（倉敷市）、備中国分寺（総社市）、笠岡諸島（笠岡市）、美星天文台（井原市）、備中松山城・うかん常山公園（高梁市）、遥照山・岡山天文台（浅口市）、嵐山公園（矢掛町）</p> <p>その他の撮影場所についてはご相談ください。</p> <p>⑥ 備中地域の星空のPRにつながるよう、ツアー名称又は説明文に「美宙の星空」という文言があること。</p> <p>⑦ 広告媒体等に備中県民局から助成を受けている旨を記載すること。</p>

（対象期間）

第5条 対象期間は、フォトツアーの実施期間が下記の期間内のものとする。

対象期間
<p>令和7年5月14日（水）以降に出発し、令和8年2月28日（土）までに帰着するもの</p>

（交付申請）

第6条 旅行者は、助成金の交付を受けようとするときは、事務局が定める日までに、専用フォームにより申請し、受付番号を取得しなければならない。

2 旅行者は、前項に規定する交付申請を行うに当たっては、専用フォーム入力後に、申請書（様式1）と行程が記載されたものを7日以内に提出しなければならない。

（受付完了通知）

第7条 事務局は、前条の規定による申請書の提出があったときは、その内容を審査し、適当と認める場合は、申請受付完了を通知するものとする。

（申請内容の変更及び取下げ）

第8条 旅行者が、前条の受付完了通知した申請について、変更または取下げ（中止）が発生した場合は、旅行出発日の7日前までに専用フォームにより事務局へ連絡しなければならない。

2 前項の変更において、団体または行程内容が変更になる場合は、再度交付申請を行うものとする。

（状況の報告）

第9条 事務局は、必要に応じ、フォトツアーの催行状況等について旅行者に報告を求めることができる。

2 前項の規定による報告の求めがあったときは、旅行者はこれに応じなければならない。

（実績報告）

第10条 旅行者は、対象のフォトツアーが完了したときは、帰着日から14日以内に実績報告書（様式2）を事務局に提出しなければならない。

2 旅行者は、前項に規定する実績報告を行うに当たって、事務局が指定する関係書類を添えて報告しなければならない。

（交付金額の確定及び交付）

第11条 事務局は、前条第1項に規定する実績報告を受けた場合は、その内容を審査し、適当と認めたときは、交付金額を旅行者に通知し、助成金を交付するものとする。

（助成金の請求）

第12条 助成金は精算払により交付するものとし、交付金額確定後、速やかに請求書を

事務局に提出しなければならない。

（交付の取り消し及び助成金の返還）

第 13 条 事務局は、助成金の交付を受けた者が、次の各号のいずれかに該当するときは、助成金の交付を取り消し、または既に交付した助成金の全部若しくは一部の返還を命ずることができる。

- （１）申請書等提出書類に虚偽があったとき。
- （２）事務局の承認を受けることなく貸切バス旅行の内容を変更したとき。
- （３）その他助成金を交付することが適当でないと認める事由があったとき。

（事業の終了）

第 14 条 助成金の交付額が当該年度の予算額に達した場合は、その時点でこの事業を終了する。

（その他必要な事項）

第 15 条 この交付要綱で定めるもののほか、助成金の交付に関するその他必要な事項は、事務局が別に定める。

附 則

この要綱は、令和 7 年 5 月 7 日から施行する。